

2012年6月28日

**ベトナム ホーチミン市郊外ビンズン省および周辺地域における
バス事業を中心とした公共交通システムの開発についての調査を開始
～ 現地の BECAMEX IDC CORP.と基本覚書を取り交わし～**

東京急行電鉄株式会社

当社は、ベトナム社会主義共和国「INVESTMENT AND INDUSTRIAL DEVELOPMENT CORPORATION」(以下、BECAMEX IDC CORP.)と、同国ビンズン省およびビンズン省～ベトナム南部地域間におけるバス事業を中心とした交通システム開発についての調査提携に関する基本覚書に調印しました。

ビンズン省は、ベトナム南部主要経済地域の中心にあり、年平均のGDP成長率が14～15%と同国の平均を大きく上回る急成長を遂げるエリアです。同省は既に160万人の人口を抱え、同省を含めたベトナム南部主要経済地域は2,400万人以上の人口を有していますが、既存の公共交通インフラは未だ脆弱であることが課題となっています。

今般、この課題への対応策のひとつとして、同省100%傘下の企業である BECAMEX IDC CORP.と共に、日本国内で当社および東急グループが長年培ってきた「東急多摩田園都市」における交通インフラを含む街づくりのノウハウを活用することにより、バス事業を中心とした、同省および周辺地域における公共交通システムの調査および計画立案を進めていきます。

当社が BECAMEX IDC CORP.と取り交わした基本覚書の骨子は以下の通りです。

- 1) 両者は、公共交通システムの調査を進めるため検討委員会を設置する。
- 2) 検討委員会は、ビンズン省の都市交通に関する現状およびビンズン省交通マスタープランの方向性について調査し、将来のビンズン省および周辺地域における人々の移動予測および公共交通需要予測等をふまえ、公共交通に関する計画を策定する。
- 3) 検討に必要な情報収集のため、各関連省庁との意見交換を実施する。

今回の調査提携により、同省がベトナム南部地域における交通システムの中心的役割を果たすとともに、同省の中心となるビンズン新都市()の価値向上にも寄与していきます。

なお、BECAMEX IDC CORP.およびベカメックス東急の概要は別紙の通りです。

() 「BECAMEX TOKYU CO.,LTD」(ベカメックス東急)による、同国ビンズン省における街区面積約110haの都市開発事業

以上

別紙

BECAMEX IDC CORP.の概要 <http://www.becamex.com.vn/jp/>

1976年の設立以来、主に工業団地、住宅地、都市交通インフラなどを整備してきたデベロッパーである。工業団地では、ベトナムシンガポール工業団地(VSIP)やミーフック工業都市を整備してきた。

その他には証券、金融、保険、銀行、建設、貿易、不動産、サービス、コミュニケーション、コンクリート製造、建設資材、鉱業、医薬品、医療や教育等の分野で活動している28の100%子会社や出資会社を有している。

会社名： INVESTMENT AND INDUSTRIAL DEVELOPMENT CORPORATION
(BECAMEX IDC CORP./ベカメックス アイディーシー コープ)

会長兼社長： Mr. Nguyen Van Hung (グエン・バン・フン)

所在地： 230 Binh Duong Boulevard, Thu Dau Mot City, Binh Duong, Vietnam

設立： 1976年

従業員数： 約2,500人



ベカメックス東急の概要

(1) 名称	BECAMEX TOKYU CO.,LTD.
(2) 所在地	ベトナム社会主義共和国 ビンズン省
(3) 代表者の役職・氏名	社長 星野 俊幸
(4) 事業内容	不動産開発業・不動産販売業・不動産賃貸業
(5) 資本金	8兆6,000億ベトナムドン(約330億円)
(6) 設立年月日	2012年3月1日
(7) 出資比率	当社 65% BECAMEX IDC CORP. 35%



以上